

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人あおぞら

1 事業の成果

別紙参照➡活動実績

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
野良猫及び保護 を要する犬猫の 保護事業 (A)	保護猫の避妊去勢 及びワクチン・投薬検診 保護に必要な食費等 TNR 活動	R6.4.1～ R7.3.31 R6.4.1～ R7.3.31	北九州 北九州	4 名 6 名	保護猫及び 地域猫 延べ数 34 匹	376
犬猫譲渡会・里 親探しに関する イベントの企 画・運営事業(B)	Web 譲渡紹介サイト 事務所における 里親希望者面接	R6.4.1～ R7.3.31 R6.4.1 ～ 随時	全国 福岡地 域主に 北九州 対象	2 名 1 名	不特定多数 多数 保護&里親へ 6 匹	0
野良猫及び保護 を要する犬猫に 関する情報提 供・啓発活動の 事業(C)	WEB による情報提供 ホームページ フェイスブック ブログノート	R6.4.1～ R6.4.1～ R6.4.1～	限定無	1 名 1 名 1 名	不特定多数 不特定多数 不特定多数 ※相談件数 50 件 63 匹	0
里親探しのため の犬猫とのふれ あい常設施設の 運営事業(D)	準備中		—	—	—	—

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
無し	無し	—	—	—	—

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

特定非営利活動法人 あおぞら

2024/4/1～2025/3/31

事業経過報告

1. 主たる活動内容

- ◎ 破棄動物（犬猫ブリーダー破棄・多頭飼に拠る飼育放棄等々含）の保護活動
- ◎ 愛護センターよりの保護犬・猫の引き取り
- ◎ 野良犬・地域猫の避妊・去勢手術支援活動
- ◎ 保護犬猫の健康管理
- ◎ 保護犬・猫の里親譲渡活動及び飼育環境・地域猫等についての啓蒙活動

活動状況

2. 主たる活動状況

A. 野良猫及び保護を要する猫の保護事業

野良猫・子猫の保護および地域猫としての管理支援。保護猫のワクチン検診等健康管理、不妊手術等々及び里親さん探し。

保護犬に関しては、スペース及び人材不足等々受け入れ態勢の不整備により現在は中止中。

保護猫の里親さん探し、地域猫活動及び当活動の理解協力を求める啓蒙活動を実施。



(6 年度活動実績-別紙)

① 保護猫の避妊去勢及びワクチン・投薬検査等々

保護猫・地域猫検診検査・不妊手術等医療実施延べ総数：34 匹

医療費は保護者本人さん亦は里親さんへ負担して頂いたことにより、出費としては大幅に削減。



② さくらねこ活動

地域ボランティア有志の、自己負担による TNR 活動の支援を主として実施。

主旨をご理解いただき自主的に活動に参加していただく方々が徐々に増えてきたと思われる。啓蒙啓発活動の重要性認識。

※公益財団法人「どうぶつ基金」による「さくら猫」無料チケット使用に関しては協力病院が北九州市内に無いことで搬送の便など考慮し一時中断。

現在、診療・避妊去勢等は門司港動物病院・スマイルどうぶつ診療所を主にご協力頂いています。



(6 年度活動実績-別紙)

③ 高齢者宅の保護猫及び地域猫活動支援

一昨年度は自宅及び自宅庭で面倒を見ている猫達の面倒が、入院の為出来なくなつたので、頼める人がいなく何とかならないかとの相談等があり、自宅訪問による保護活動を行ったが、6年度は、独り暮らしの高齢者、長期入院に伴い、家にいる保護猫等の面倒を見るものがないという相談や、短期旅行の間面倒を見てほしい等々の相談あり。一時預かりを実施。

高齢化の進む中、今後このような依頼が増えてくるのではと思われる。

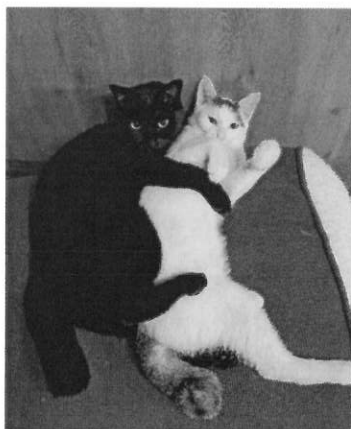


B. 犬猫譲渡会・里親探しに関するイベントの企画・運営事業

基本的に、譲渡会等のイベントによる活動は猫等の負担を考え中止。

里親さん募集に関しては直接、仔猫たちと希望者さんの面会及び聞き取り調査等を踏まえて実施を予定する。併し保護猫を新たに迎えてくれる里親さんは本年度は皆無。

その代りに、地域猫を其の儘、保護猫とし受け入れてもらうケースが増えて来た。



(6 年度活動実績-別紙)

C. Web 譲渡紹介サイト活用及びロコミ・ポスターによる紹介

ペットのおうち <https://www.pet-home.jp/member/user816951/> に保護猫・保護犬を常時掲載して紹介。

ポスターは北九州各地の動物病院あるいは店舗に随時掲載を、随時お願いして保護猫を紹介。また、本年度は迷い猫の捜索依頼等もあり、ボランティアでの地域猫活動の皆さんまた、外猫のえさやりさんのご協力依頼するも、不明のままに終わった。



D. 野良猫及び保護を要する猫に関する情報提供・啓発活動の事業

啓蒙啓発活動は、日々の電話・メールによる保護相談対応等、本年度の中心的活動となった。

1. 電話及びメールによる、保護に関する相談件数は延べ約 50 件—外猫 63 匹。
2. 各サイト随時情報更新及ペット飼育等に関する啓蒙記事を掲載 WEB による情報提供。

E. 里親探しのための犬猫とのふれあい常設施設の運営事業

現在、資金調達、人材確保及び場所確保等について検討中。

F. その他

- ★「ライオンペット(株)」による「獣医の開発したトイレ&猫砂」プレゼント企画参加継続新名称「さくらプロジェクト」、定価約 5000 円相当の商品を里親さんへプレゼント。

(6 年度活動実績-別紙)

★寄付状況について

初年度よりの累計総額 ¥ 5,341,003 2024 年度計 ¥ 453,686

初年度よりの寄付者延べ数計 413 名 2024 年度計 29 名

※ 寄付者数には募金の人数は含まれていません。また、企業様よりの新規寄付が 2 件でしたがありました。

3. まとめとして

2025 年度の活動に於いては、地域猫活動を中心に、外猫問題に関する相談者に対し、地域猫活動の重要性を啓蒙する機会が増えた。

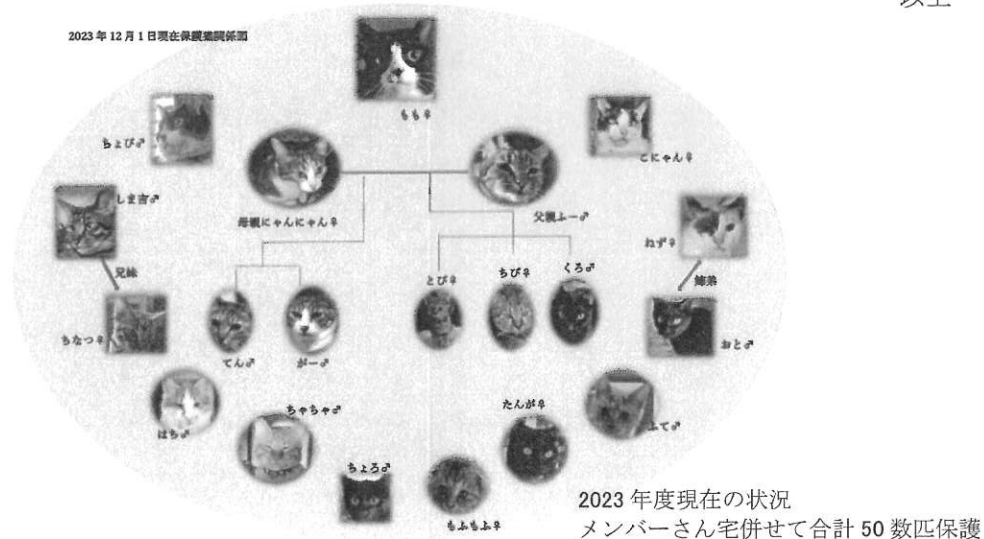
根本的問題の解決には積極的に地域猫活動を推進する事の方が重要と考え今後も啓蒙啓発活動を継続。

また、前年度以降、行政福祉課或いは、高齢者入院又は死亡により引き取り手のない犬猫保護依頼等々の相談が増えて来た。今後さらに増えていくことと思われます。

民間団体又は個人での受け入れには限度があり、そのような場合に対処できるネットワーク構築・一時避難的シェルター制定が行政機関を中心に受け入れ組織として必要となるのではと思う。今後の重要な課題となると考えてます。

保護活動において、問題解決の重要なポイントは、各自の愛護に関する自覚を促す啓蒙啓発活動が重要であり、また、会員自身の高齢化及び保護スペースの確保の問題等々を踏まえ、今後、啓蒙啓発等の活動に更に重点をおくようにしていく予定。

以上



【WEBによる情報発信及び情報収集のツール】

(ア) ホームページ <https://doubutu-aozora.jimdosite.com/>



(イ) フェイスブック <https://www.facebook.com/eiko.sugihara>



(ウ) Facebook 専用ページ

<https://www.facebook.com/%E5%8B%95%E7%89%A9%E6%84%9B%E8%AD%B7%E5%9B%A3%E4%BD%93-npo%E6%B3%95%E4%BA%BA%E3%81%82%E3%81%8A%E3%81%9E%E3%82%89-112127280224553/>

(エ) ブログノート <https://note.com/2019dobutu>

※ noteにはサポート機能が有り、その機能を活用していただき、僅かずつですが複数の方々にご寄付を頂けるようになりました。



(法第28条第1項関係記載例)

6年度 活動計算書 (2024年度)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで /

特定非営利活動法人あおぞら
(単位: 円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費(含入会金)	11,000		
賛助会員受取会費(含入会金)	20,000		
.....		31,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	453,686		
施設等受入評価益	0		
.....		453,686	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
公的補助金	0	0	
4. 事業収益			
事業収益	0	0	
5. その他収益			
受取利息	82		
雑収益	0		
.....	0	82	
経常収益計			484,768
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
謝金			
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	4,006		
旅費交通費	0		
印刷費	0		
減価償却費	0		
通信費	0		
動物医療費	41,217		
消耗品費	331,757		
雑費	0		
その他経費計	376,980		
事業費計		376,980	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	25,860		
印刷費	0		
旅費交通費	0		
減価償却費	0		
通信費	2,901		
消耗品費	0		
雑費	0		
租税公課	0		
その他経費計	28,761		
管理費計		28,761	
経常費用計			405,741
当期経常増減額			79,027
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	

経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			79,027
前期繰越正味財産額			1,204,142
次期繰越正味財産額			1,283,169

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等
(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、
「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示
することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額

0

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費等

0

運営指導及び謝金

0

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

補助金

0

一般正味財産への振替額

△

0

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 会計方針の変更

なし

3. 事業別損益の状況

A事業：野良犬・野良猫及び保護を要する犬猫の保護事業

B事業：犬猫譲渡会・里親探しに関するイベントの企画・運営事業

C事業：野良犬・野良猫及び保護を要する犬猫に関する情報提供・啓発活動の事業

D事業：里親探しのための犬猫とのふれあい常設施設の運営事業

(単位：円)

科目	A事業費	B事業費	C事業費	D事業費	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	31,000	31,000
2. 受取寄附金	388,000	0	0	0	388,000	65,686	453,686
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	82	82
経常収益計	388,000	0	0	0	388,000	96,768	484,768
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0
謝金費	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
会議費	4,006	0	0	0	4,006	25,860	29,866
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0
印刷費	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
通信費	0	0	0	0	0	2,901	2,901
動物医療費	41,217	0	0	0	41,217	0	41,217
消耗品費	331,757	0	0	0	331,757	0	331,757
機材使用料	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	376,980	0	0	0	376,980	28,761	405,741
経常費用計	376,980	0	0	0	376,980	28,761	405,741
当期経常増減額	11,020	0	0	0	11,020	68,007	79,027

6. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
-	0	0	0	0	
-	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

8. 借入金 の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	0	0	0
個人借入金	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

9. 役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。
(単位：円)

科目	計算書類に計 上された金額	内役員及び近 親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	453,686	39,000
委託料	0	0
活動計算書計	453,686	39,000
(貸借対照表)		
未払金	0	0
個人借入金	0	0
貸借対照表計	0	0

(法第28条第1項関係様式例、報告式)

6年度 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表
(2024年度分)

令和7年3月31日現在

(特定非営利活動法人あおぞら)

科目	金 額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	2,189		
普通預金	608,125		
当座預金	672,855		
流動資産合計		1,283,169	
2 固定資産	/		
有形固定資産	0		-
車両運搬具	0		
.....	0		
.....	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,283,169
II 負債の部			/
1 流動負債			
未払金	0		
前受助成金	0		
預り金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
.....	0		
.....	0		
.....	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,204,142	
当期正味財産増減額		79,027	
正味財産合計			1,283,169
負債及び正味財産合計			1,283,169

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 その他の事業を行う場合にあっては、「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」の会計を区分し、それぞれ別表として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

6年度 会計財産目録
(2024年度分)
令和7年3月31日現在

(特定非営利活動法人あおぞら)

科目		金額 (単位:円)	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	2,189	
普通預金	郵便貯金門司港支店	608,125	
当座預金	郵便貯金門司港支店	672,855	
未収金		0	
流動資産合計		1,283,169	
2 固定資産			
土地家屋		0	
利付国債		0	
.....		0	
.....		0	
固定資産合計		0	
資産合計			1,283,169
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金		0	
短期借入金	個人	0	
預り金		0	
.....		0	
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金		0	
退職給与引当金		0	
.....		0	
.....		0	
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産合計			1,283,169

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 財産目録を会計ごとに区分して作成する場合には、「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」の会計を区分し、それぞれ別葉として作成する。(ただし、財産目録については会計ごとに作成せず、法人単位に作成することも考えられる。その場合、この書類の題名は、単に「〇〇年度財産目録」となる。)
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。

(法第28条第1項関係様式例)

前事業年度の年間役員名簿

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人あおぞら

役名	氏 名	住所又は居所	就任期間	報酬を 受けた 期 間
理事長	杉原英子 スギハラエコ		R6年4月1日→ R7年3月31日	報酬無し
副理事	石田ヤエ子 イシダヤエコ		R6年4月1日→ R7年3月31日	報酬無し
理事	沖永繁章 オキナガシゲアキ		R6年4月1日→ R7年3月31日	報酬無し
監事	末吉志摩 スエヨシマ		R6年4月1日→ R7年3月31日	報酬無し

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。「理事長」「副理事長」など職名を定めいている場合には、職名を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、北九州市特定非営利活動促進法施行条例第2条第2項に掲げる書面（住民票等）によって証された住所又は居所を記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬なし」とそれぞれ記載する。

(法第28条第1項関係様式例)

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人あおぞら

氏 名		住 所 又 は 居 所
杉原英子	スギハラエ子	
石田ヤエ子	イシダヤエ子	
塚田澄代	ツカダスミヨ	
白川頼子	シらかわヨリコ	
末吉志摩	スエヨシシマ	
小野陽子	オノヨウコ	
江藤文子	エトウフミコ	
篠原艶子	シノハラツヤコ	
永富紀子	トミカノリコ	
沖永繁章	オキナガシゲアキ	
杉原政男	スギハラマサオ	
塚田惇志	ツカダサトシ	

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。